

問題

資料1、資料2は、国際農林業協働協会（JAICAF）が2011年に発行した『世界の食料ロスと食料廃棄その規模、原因および防止策』より作成したものである。これらについて、以下の間に答えなさい。

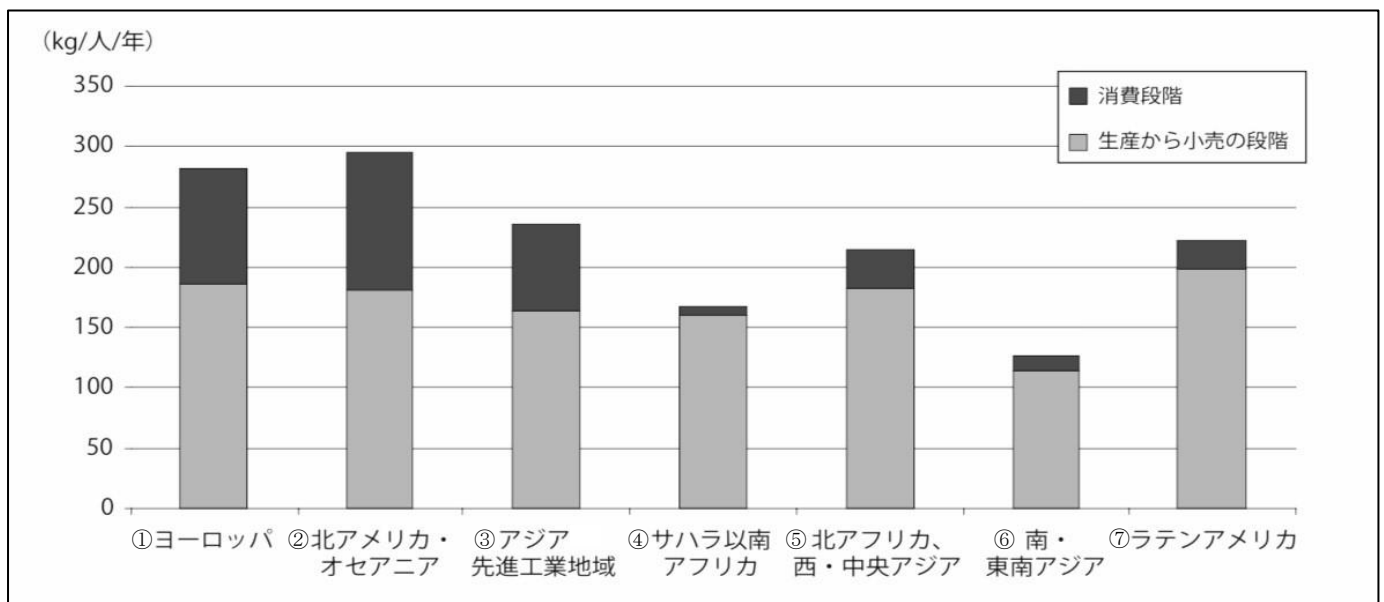
問1

資料1は地域別に「消費段階」と「生産から小売段階」における食料ロス・廃棄量の重量を年間の一人当たりで示したものである。この資料で示した7つの地域を2つのグループに分けるとしたらどのように分けることができるか。7つの地域がどちらのグループに属するかを明確にした上で、それぞれのグループの特徴を200字以内で説明しなさい。なお、解答の際に地域の名称の代わりに資料中の①～⑦の番号を使用してもよい。

問2

世界では「食料ロス・廃棄量」を減らす取り組みが求められている。日本のような先進国においては、「国内での取り組み」と「海外での取り組み」の2つの観点が重要だと言える。資料2を参考に世界で「食料ロス・廃棄量」を減らす取り組みについて、上記の観点到に沿った具体策をそれぞれ考え、400字以内で述べなさい。

資料1 各地域における消費および消費前の段階での一人当たり食料ロス・廃棄量



資料2 「果実・野菜類」についてフードサプライチェーン^{※1}各段階で評価／推定された食料ロス・廃棄量の割合(%)^{※2}

	農業生産	収穫後の 取扱・貯蔵	加工・包装	流通 ^{※3}	消費
ヨーロッパ（ロシア含む）	20	5	2	10	19
北アメリカ・オセアニア	20	4	2	12	28
アジア先進工業地域	10	8	2	8	15
サハラ以南アフリカ	10	9	25	17	5
北アフリカ、西・中央アジア	17	10	20	15	12
南・東南アジア	15	9	25	10	7
ラテンアメリカ	20	10	20	12	10

※1 食料の生産から貯蔵、流通、加工、販売、消費に至る一連の過程。

※2 各段階における総重量に対する食料ロス・廃棄量の割合。

※3 「ヨーロッパ（ロシア含む）」「北アフリカ・オセアニア」における流通は「スーパーマーケット・小売」に限定したもの。

フードサプライチェーン各段階の詳細

農業生産：機械的な損傷や収穫作業（例えば、脱穀あるいは果実の摘み取り）中の損耗、収穫後の収穫物の選別除外、その他によるロス。

収穫後の取扱と貯蔵：取扱、貯蔵および農場と流通拠点間の輸送中の損耗や品質劣化によるロスが含まれる。

加工・包装：例えば、ジュース製造、かん詰め作業および製パンなど、加工工場あるいは地場での加工工程中に発生する損耗や品質劣化によるロスが含まれる。ロスは、収穫物が加工に適さないとして選別除外された場合や、洗浄、皮むき、薄切りおよび煮沸^{しゃぶつ}行程中に、または加工の中断や事故による損耗によって発生しうる。

流通：例えば、卸売市場、スーパー、小売店およびオープンマーケットなどの市場システムにおけるロス・廃棄を含む。

消費：世帯段階で消費される間のロス・廃棄を含む。